

千葉市立緑町中学校 キャリア教育グランドデザイン

社会科の研究について

全体研究主題との関わり	生徒の実態
<p>社会科では、グローバル化する国際社会に主体的にかかわる資質・能力を育成することを目標としている。日本では2009年に裁判員制度が始まり、2015年には選挙権の年齢が18歳に引き下げられた。2020年には改正民法が施行され、将来そう遠くないうちに社会参加する機会がやってくるため、社会参加に向けてコミュニケーション能力や思考力などの、基礎的な資質・能力を育成することが重要であり、主体的に自己の在り方や生き方を考えることにつながると考える。以上のことから、本校社会科では、生徒の人間関係形成・社会形成能力の育成に重点を置くことにした。</p>	<p>本校生徒は与えられた課題に意欲的に取り組み、知識も豊富である。授業内の発表では、知識を問う質問には積極的に答えるが、理由や原因を問う質問にはやや消極的になる様子も見られる。しかし、話し合い活動では活発に議論が行われ、深まりのある授業展開が可能である。また、昨年度の2月に実施した実態調査から、「自分の意見や考えを人に伝えることが得意だ」の項目に「あてはまる」と回答した生徒が22%、「自分にも社会（世の中）のためにできることがあると思う」の項目に「あてはまる」と回答した生徒が56%と、世の中のために何かができると思えつつも、自分の意思を表明することを苦手とする生徒が多いことが伺えた。</p> <p>昨年度は地理的分野や公民的分野において話し合い活動を多く行ったため、全分野においてそのような活動を入れていくことが今年度の課題である。</p>
研究主題	
社会参加に向けた基礎的な資質・能力を高める指導法の工夫	

目指す生徒の姿			
㊦ とめあう力	㊦ つめる力	㊦ いたす力	㊦ とおす力
<p>・自分の意見をしっかりと持ち、他の人の意見を参考にしながら、物事を多角的・多面的にとらえることができる。</p>	<p>・学習課題を理解し、授業を通して課題に対しての考えを深めることができる。</p>	<p>・自分の持っている情報や知識を使い、社会的事象に対する自分の考えを述べることができる。</p>	<p>・学習した内容が実社会とどのように関係し、自分がどのように関わることができるか考えることができる。</p>